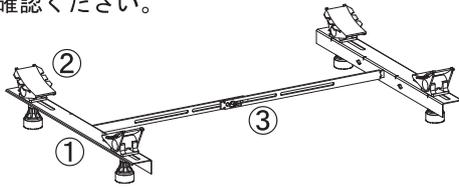


バスタブ設置用脚の取付け

セット内容

施工前に必ず下記内容をご確認ください。



- ①アングル×2
- ②テープ付アジャスター×4
- ③ジョイントバー×1

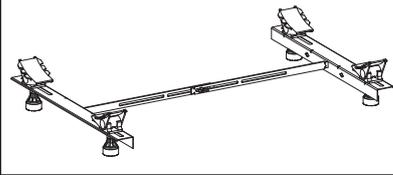
取付方法 -設置用脚-

- 施工前に裏面の油分、汚れを取り除いてから作業してください。
- アングル、ジョイントバーはスチール製です。メッキ処理は施されていますが、直接湯水がかかったり、湿気によって錆が発生しますので、浴槽裏面に湯水や湿気が回らないように施工してください。

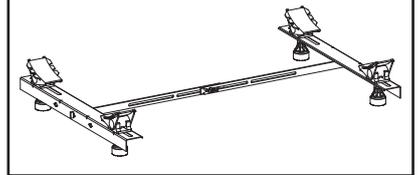
※ジョイントバーをアングルに取付の際は、①、②をご確認の上、固定してください。

- ①バスタブのサイズを確認し、アングルの向きを設定してください。

1500ミリ以上のバスタブに取り付ける場合、図のようにアングル向きを内側にして取り付けます。

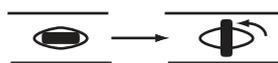


1400ミリ以下のバスタブに取り付ける場合、図のようにアングル向きを外側にして取り付けます。



- ②バスタブの排水口、オーバーフローの位置を確認してください。

アングルの側面には、楕円形の穴が3ヶ所あります。写真のように排水口やオーバーフローにジョイントバーが干渉しない位置を決めてください。



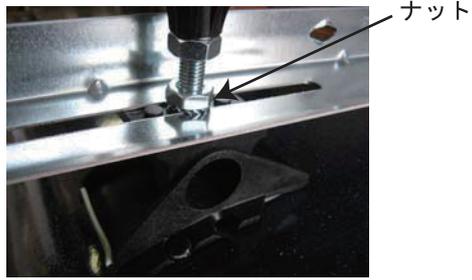
ジョイントバーをアングルに差し込み、90度回転させて、固定してください。



ジョイントバーに付いているボルトナットを緩め、バーを延ばします。

バスタブ設置用脚の取付け

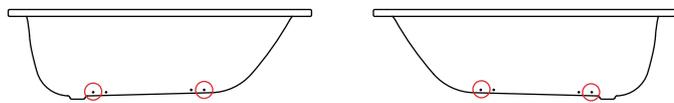
取付方法 -設置用脚-



ナットを緩め、樹脂部を左右にスライドさせて取付ピンの位置に合わせ

取付位置について

【バスタブ側】



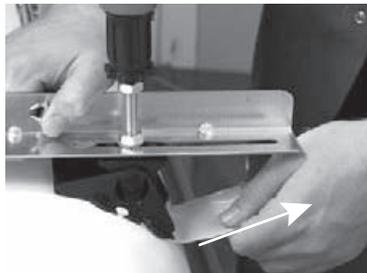
各箇所を外側のピンに差し込み、突っ張るように取り付ける

○=取付ピン位置

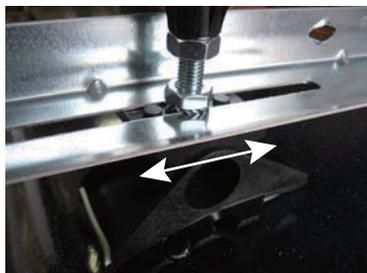
【脚側】



樹脂部の差込み口は2ヶ所あります。バスタブのアールに比較的沿う方を選んで差込んでください。



位置が決まれば、樹脂の両面テープを外す



左右のアングルの出寸法を決め、ナットを締めて固定する



設置場所に仮設置し、端部に樹脂を回して高さを調節し最後にナットで固定してください。

排水金具の取付け

セット内容

施工前に必ず下記の内容をご確認ください。

外箱写真

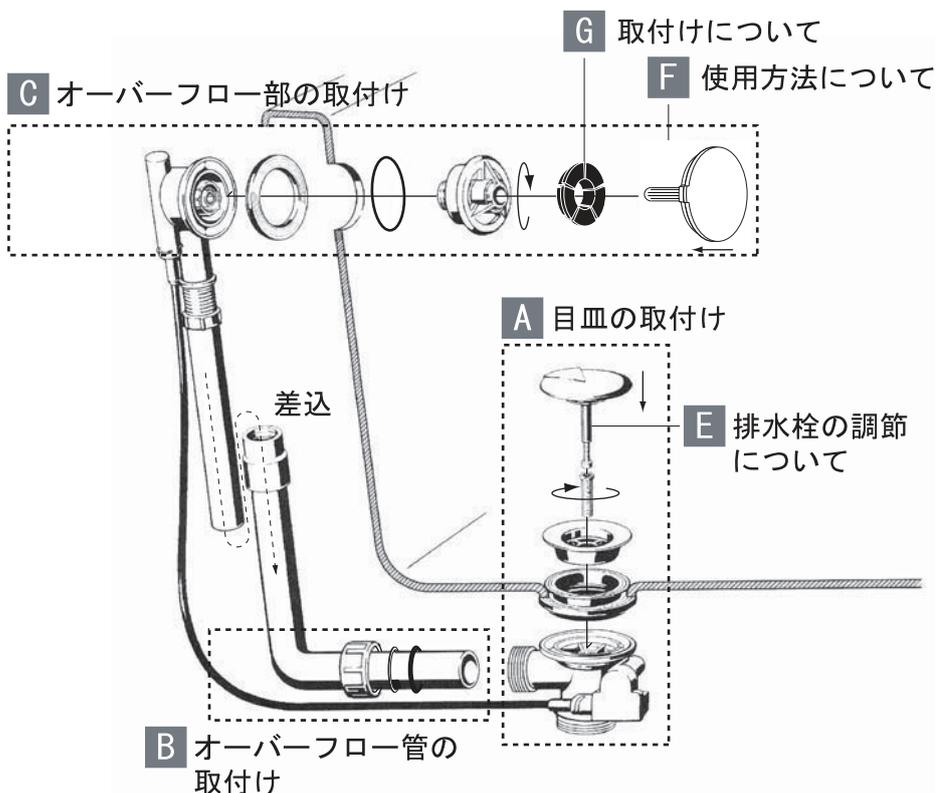


内容写真



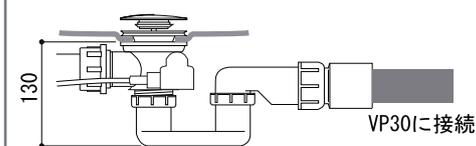
- ① 排水部品本体
- ② パッキン
- ③ Oリング
- ④ オーバーフローフランジ部
- ⑤ オーバーフロー穴埋めゴム栓 (5片で1セット)
- ⑥ 操作ハンドル
- ⑦ オーバーフロー管
- ⑧ ジョイントゴム
- ⑨ 袋ナット
- ⑩ スリップワッシャー
- ⑪ テーパーパッキン
- ⑫ 排水栓
- ⑬ 目皿取付ボルト
- ⑭ 目皿
- ⑮ 排水口用U型パッキン

全体図



オプション品
※別売品です。必要な場合、注文時にご指示ください。

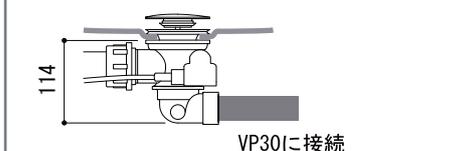
■バス用トラップ



- ・塩ビ管30に接続できます。
- ・塩ビパイプ用の接着材を使ってVP30と接着してください。

■横引きエルボ

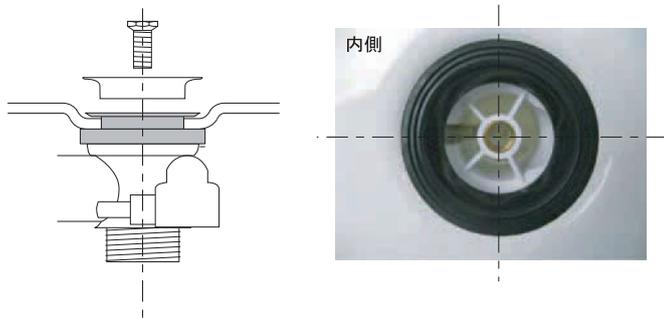
(トラップ機能はありません。)



- ・排水部品の端部ネジ(G 1.1/2")にシール材を巻きつけエルボを接続してください。
- ・塩ビパイプ用の接着材を使ってVP30と接着してください。

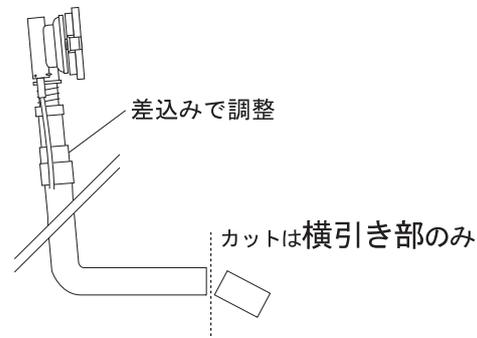
排水金具の取付け

A 目皿の取付け



- ①「排水口用U型パッキン」を「排水部品本体」に取付けます。
- ②「排水口用U型パッキン」をバスタブ裏側から排水口に差込みます。
※パッキンの向きに注意してください。
- ③内側から「目皿取付ボルト」で「目皿」を締めます。
※バスタブ排水口の芯と目皿の芯を合わせて取付けてください。

B オーバーフロー管の取付け

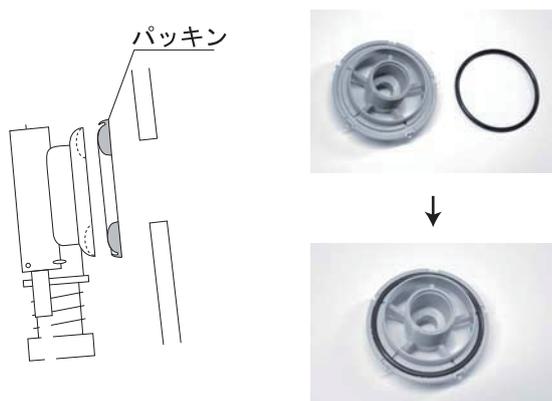


- ①オーバーフロー管がバスタブ側面に沿うよう、「オーバーフロー管」の横引き部のみをカットし調節します。(写真①参照)

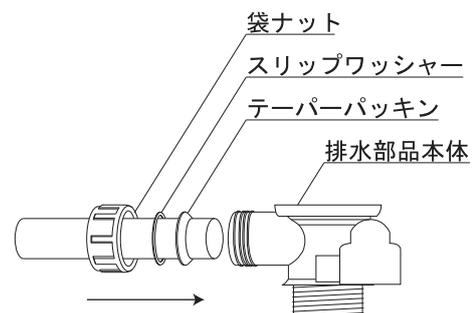
写真①



C オーバーフロー部の取付け



- ①「パッキン」を「排水部品本体」に、「Oリング」を「オーバーフローフランジ部」に、それぞれはめ込みます。
- ②バスタブ内側から「オーバーフローフランジ部」を「排水部品本体」に締めます。
- ③締め込みの際、「フランジ」の溝に「オーリング」が緩みなく納まっているか注意して締めてください。
- ④オーバーフランジはしっかりと締め込まないと、ハンドル操作により緩む可能性があります。



- ②「テーパパッキン」、「スリップワッシャー」を通し、「袋ナット」を締めます。

※順番、向きに注意してください。

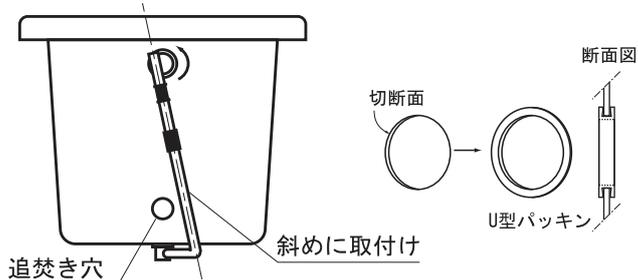
※排水金具と建築側の排水管は直接接続する、直接排水方式としてください。

※排水金具取付け後、漏水がないか必ず確認してください。

※埋め込み施工の場合、万一の点検修理に備え、排水金具付近に点検口を設けるか、設置後の浴槽取外しが可能な施工方法で設置してください。

排水金具の取付け

D 追焚付給湯器対応モデルについて

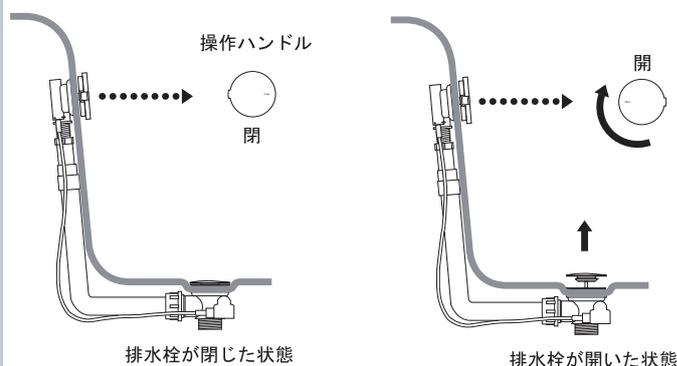


- ・排水部品を斜めに取付けることにより、循環金具に干渉せず取付けることが可能です。
- ・追焚付給湯器対応モデルに付属している「U型パッキン」は循環金具に付属のパッキンと併せてご使用ください。

追焚付給湯器用循環金具取付穴を現場加工する場合

- ・ホーロー用ホルソー(φ53)で穴をあけ、**切断面を確実に防錆処理**し(ローバル等、亜鉛メッキ塗料)「U型パッキン」(別売品)を取付けてください。
- ・確実に防錆処理を施しませんともらい錆やホーロー層の剥離等重大な不具合の原因となります。
- ・付属の「オーバーフロー穴埋めゴム栓」を使用する場合も「オーバーフロー管」は必ず取付けてください。

F 操作ハンドルの使用方法について

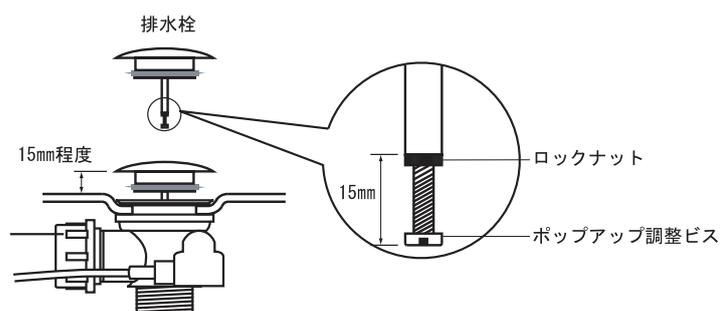


- ・「操作ハンドル」はまっすぐ奥までしっかりと差込みます。
- ・**可動範囲は最大180°以内**ですので、それ以上の無理なハンドル操作は行わないでください。

※「操作ハンドル」は大きな負荷が掛かった場合、ハンドル自体が破損することにより内部部品の破損を防ぐ構造となっておりますのでご注意ください

※浴槽周りの施工を行なう前に排水金具の動作確認を行なってください。

E 排水栓の調節について



- ・「調整ビス」は**15ミリ**に設定して出荷しております。
- ・操作ハンドルを回し適切に開閉しない場合、下記手順で調整してください。
「ロックナット」を緩め「ポップアップ調整ビス」の長さを調整し、最後に「ロックナット」を閉めて固定してください。
- ※「調整ビス」の突出し量は15ミリを目安とし、20ミリ以内の範囲で調整してください。
- ※排水栓を踏みつけたまま操作ハンドルを回すと、器具が破損する場合がありますので、ご注意ください。
- ※ポップアップ式の排水金具は構造上、若干水が抜けますが、ご使用に不便を感じるほどではありません。

G オーバーフロー穴埋めゴム栓取付けについて



このゴム栓(5分割)はオーバーフローフランジ部に差込むことにより、オーバーフローさせず、より深い水位を確保できます。ゴムに少量の石鹸水を塗布し、確実に差込んでください。ゴム栓の差し込みが浅いとオーバーフローフランジのゆるみの原因となります。

一般的な在来浴室など洗い場のある場合、このゴム栓を取付けてください。

ただし、オーバーフローをふさぎますとバスタブから湯水が溢れる場合があります。ホテルや洗い場のない浴室、フリースタANDINGで設置する場合など、オーバーフローが必要な場合は取付けないでください。

取付けない場合はユーザー様に必ずお渡しください。